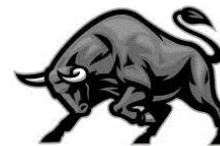


我ら 50 期 ここにあり



2021年をどんな年にするか。

中学校生活はあと3ヶ月で、今津中学校に登校する日は残すところ、1月は16日、2月は18日、3月は10日で、みんなと会える日はあと44日です。手前には、第5回実力テスト、学年末テスト、私立受験、公立受験と越えなければならない山があります。さらにその先を見ると4月からは全員に新しい生活が待っています。その「未知なる我」「未見の我」に順調な滑り出しをさせるために、今まで培った力をすべて注ぎましょう。1/4は中学で、3/4は新しい環境で生活をするということを考え、1年の目標を立てて、自分に対して挑戦状を突き付けてください。この1年は皆さんの人生にとって大きく躍動する年になると肝に銘じてスタートを切ってください。



ゆでガエルになるな

カエルを真水の中に入れて、少しずつ少しずつ水温を高めていくと、いい湯になって気持ちよくつかっていると、そのうち熱湯になってそのままカエルは死んでしまうのです。周りの変化に気付かないで、楽をしてボオ～っとしていたら取り返しのつかないことになりますよということです。アクションが遅かったり、気付いていても行動しなかったり、周りの変化に対してスルーするようなことをして現状維持していたら、死んでしまう（居場所や存在価値がなくなる）ということです。これは比喩なので、現実的にはカエルはそんな風になりません。カエルも水がぬるま湯になり熱湯になるまでに気付いて、“ピョン”と飛び出して逃げるでしょう。ぬるま湯につかっていては、身体は温まりませんし、湯船から出ても湯冷めてしまいます。キーンと熱いお湯に肩までしっかりつかって、すぐに身体を拭いて服を着れば、身体は温まるし心身共にリフレッシュできるでしょう。多くの人は目の色を変えて、自分の進路を獲得し最高の形で巣立とうとしてくれています。

一生にかかるお金はどれくらい？

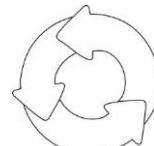


i9979

	国公立	私立
幼稚園	70万	145万
小学校	193万	917万
中学校	144万	398万
高校	135万	312万
大学	539万	779万
合計	1,081万	2,551万

「人生の三大出費」とは、「教育」と「住宅」、そして「老後」にかかるお金を指します。子どもが生まれたら、その子が行く学校の入学や進学のためにまとまった金額が必要ですし、家を買うのならその資金が必要です。そして、年を取って仕事ができなくなってしまっても、生活していくだけのお金を確保しておかなければなりません。こうしたお金は多額になるため、長期的に準備する必要があります。大人の多くはコツコツと計画的にこれらのお金を貯めたり、銀行などの金融機関から借りたりしながら、こうした出費と向き合っているのです。子どもにどういった教育を受けさせたいか、あるいは、どのような学校に進学させたいかで金額が大きく変わってくるのです。幼稚園から大学まですべて公立の学校に通わせる場合と、すべて私立の学校に通わせる場合では、金額に大きな違いが出てきます。住宅を購入する人の多くは、「住宅ローン」と呼ばれるシステムを使って銀行からお金を借り、何十年もかけて、少しずつ返済します。平均の借入額は2677.4万円で、月々の返済額は9.2万円、返済期間はおよそ25年間です。住宅を購入せずに借り続ける場合は、高齢になってもずっと家賃を払い続ける必要があります。平均寿命が伸び、「人生100年時代」といわれる現代の日本では、仕事を引退してから長い年月を生きていくためのお金が欠かせません。健康かどうか、何歳まで生きるのか、どのような生活をしたいかで必要な金額は変わります。年金などの収入はあるとはいえ、老後のための貯金が必要です。

プラスのサイクル



勝負の2ヶ月で上手に力を発揮するためには、やみくもに勉強時間を増やすだけではうまくいきません。「～をしたら勉強がはかどる」「～をしたら周囲が喜んでくれる」「～をしたらリラックスできる」「～をしたら落ち着く」「～をしたら切り替えられる」とう、プラスのサイクルを見つけておこう。自分を最高の状態に自分で持ていけるように工夫しよう！